

計画事業番号	00423	事務事業名	森林ボランティア支援事業	担当部署	経済部農政課	電話	4605
--------	-------	-------	--------------	------	--------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	-			
事務事業開始年度	平成16年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 3 節) 水と緑の空間の充実	
	(施策 1) 緑化の推進	
2 対象		
3 目的と内容	森林整備等のボランティア活動をしているグループを支援することにより、森林整備の一端を担う森林ボランティアの育成を図る。	
4 実施内容 (手段)	2017年度まで	市所有の森林整備用機器を整備し、森林ボランティア等への無償貸与(チェンソー、刈払機等)
	2018年度	昨年度と同様に市所有の森林整備用機器を整備し、森林ボランティア等への無償貸与(チェンソー、刈払機等)

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
森林整備機器の整備 森林ボランティア等への無償貸与	森林整備機器の整備 森林ボランティア等への無償貸与 貸出数65台	森林整備機器の整備 森林ボランティア等への無償貸与		森林整備機器の整備 森林ボランティア等への無償貸与		森林整備機器の整備 森林ボランティア等への無償貸与	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		62		62		72		76		
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	62		62		72		76	
	① 合計	62		62		72		76		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	420	0	420	0	420	0	420	0	
総事業費①+④		482		482		492		496		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①貸出機器の保有台数	目標値	65	65	65	65
		実績値	65			
	②貸出台数 7.5ヶ月/年 (4月～11月中旬)	目標値	65	65	65	65
		実績値	65			
	③年間ボランティア活動日数 2日/月×7.5ヶ月	目標値	15	15	15	15
		実績値	15			
	④年間ボランティア活動人数 15人/回×2回/月×7.5ヶ月	目標値	225	225	225	225
		実績値	225			
成果指標	① 貸出率 (目貸数/目活日)/(実貸数/実活日)100	目標値	100	100	100	100
		実績値	100			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	森林保全の大切さは、社会一般に浸透しており、多数の市民が森や多様な生物を守るという趣旨に賛同してボランティアに参加している。温暖化や災害対策としても森林整備は重要であり、森林整備の一端を担うボランティアへの支援は必要である。行政として、市民グループの活動を推進する。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	機器貸出により、森林ボランティアとしての活動の幅が広がり、より活発な森林保全活動としての成果が上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	市有林の除伐などの森林整備の一部をボランティアが担っており、支援をすることの効果がある。機器を複数そろえることで、複数の団体に対する支援が容易になるとともに、森林保全活動の成果が向上する。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	年間予算は、今後およそ6～7万円で森林の整備機器等の部品の更新やオーバーホールなどを計画的に行っていく必要があり、必要最小限の予算額である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。